

熊本市地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進にかかるモデル事業について

1 モデル事業の目的

地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、学校と地域を取り巻く課題解決のための組織的・継続的な仕組みとなる「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置した学校)」を一体的に推進することによる成果と課題を検証し、本市での本格実施につなげるため。

2 事業概要

モデル校に学校運営協議会をシミュレーションする拡大評議員会¹を設置し、こどもを含めて学校が地域住民等と目標やビジョンを共有しながら、学校運営や地域連携について協議していく。

また、地域学校協働活動コーディネーター(以下「地域コーディネーター」という。)を配置し、学校と地域等との情報共有や連絡調整を担うことで、地域学校協働活動の充実やこどもの多様な学びに繋がる取組として検証を行っていく。

拡大評議員会¹:地域コーディネーター、学校や地域の特色を生かした人材が加わるもの

めざす姿

- 社会総がかりでこどもの学びや成長に関わる「こどもまんなか社会」の実現
- 学校や地域の課題を自ら考え、主体的に解決し、よりよい社会を創造するための資質・能力を育む

委員構成(例)



3 熊本市らしさのポイント

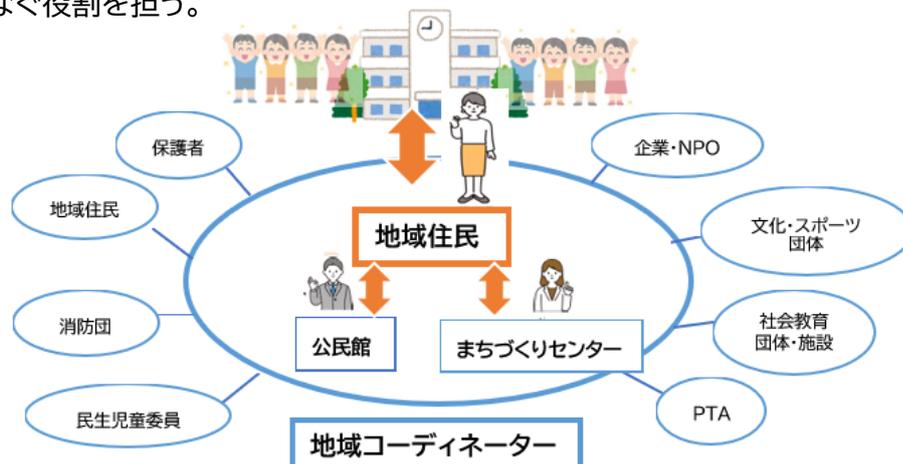
(1) こどもの参画

こどもの意見や考えが学校運営や地域づくり等に反映されるような取組の実施

- ① 拡大評議員会で児童会・生徒会の取組を報告。
- ② こどもたちとおとなの委員との対話の場を設ける。
- ③ 学校運営や地域づくり等に参画する。

(2) 地域と学校をつなぐ地域コーディネーターの設置

地域住民と公民館(社会教育主事)とまちづくりセンター(地域担当職員)が、3者で学校と地域をつなぐ役割を担う。



4 モデル校 4 校の取組状況

城南小学校

(1) 学校と地域の連携によるまちづくり、学校づくり

- ・ 6年生が考えた「みんなが光輝くまちづくり大作戦」のアイデアを、おとなの拡大評議員に紹介した。

こどもとおとなの意見をつなぐファシリテーターが進行し、「みんなが幸せになるまちづくり」についてワークショップを行い、地域住民や保護者と交流を深めながら意見を出し合った。

6年生が提案した活動は、地域の各種団体の賛同を得て実現することにつながった。

(乳幼児と楽しく笑顔で遊ぶ大作戦、地域の人たちと仲を深めるウォークラリー等)

- ・ 年度末の第4回拡大評議員会では、5年生が次年度の学校運営（城南小の未来のためにできること）についておとなに提案し、意見交換を行った。



まちづくりのアイデアについて意見交換



よりよい学校にしたいと意見表明

(2) 地域と学校をつなぐ地域コーディネーターによる地域学校協働活動の事例

- ・ 1年生学習支援 延べ59日（地域住民）
- ・ 授業支援ミシン（地域住民）
- ・ フラワーアレンジメント（熊本花市場）
- ・ さつまいも収穫祭（地域住民）
- ・ 乗馬体験（熊本農業高校、青少年健全育成協議会）



ミシンでエプロンをつくろう

学校の地域担当職員 ⇒ 地域コーディネーター ⇒ 授業支援（1年生支援、実技支援）

※校務分掌に位置付け

健軍東小学校

(1) こどもの意見を活かした学校運営

- ・ 拡大評議員会で会食（給食）をしながら和やかな雰囲気の中、学校教育目標に関する学校独自アンケートについて報告した。

学校教育目標「自分できめるこどもの育成」等について、こどもとおとなが意見交換し、目標を共有した。

- ・ 拡大評議員会で、校則の見直しと指定物品の検討を行い、それぞれの立場で様々な意見が出され活発な協議が行われ、こどもが提案した内容が反映した。



「自分できめる」主体性について意見交換



運動に適したデザインや色について協議

(2) 地域と学校をつなぐ地域コーディネーターによる地域学校協働活動の事例

- ・ 障がい者サポート養成講座
(障がい者相談支援センター)
- ・ 国語「地域の魅力を発信しよう」
(公民館、まちづくりセンター)
- ・ 社会「水産業」講座 (水産企業職員)
- ・ e スポーツ交流 (民生児童委員、社会福祉協議会、
熊本県立大学生、老人会)
- ・ ジモトーク (KEW 企画)



e スポーツを通して交流

学校 ⇒ 公民館 ⇒ 障がい者サポート養成講座

武蔵中学校

(1) 生徒主体の地域連携活動等

- ・ こどもと地域住民が町内ごとの班になり、町内の危険箇所の確認や、地域をよりよくしていく方法等について活発な協議を行った。
- ・ 春と秋に行われる町内の一斉清掃に参加し、地域の方々と清掃活動を行った。
- ・ 生徒会執行部が次年度の活動方針等について地域住民に説明した。

計画の実現に向けた課題とその対策等について質疑応答を通すことで、生徒会活動のあり方について共有することができた。



町内ごとに地域の危険箇所を確認



生徒会活動の説明・質疑応答

(2) 地域と学校をつなぐ地域コーディネーターによる地域学校協働活動の事例

- ・ 赤ちゃんふれあい交流会 (子育てネットワーク)
- ・ 朝の読み聞かせ (地域住民)
- ・ 職業講話 (地域住民)
- ・ 地域一斉清掃 (地域住民・保護者)
- ・ 人権講話 (地域住民、保護者)



赤ちゃんふれあい交流会

子育てネットワーク ⇒ 学校 ⇒ 赤ちゃんふれあい交流会

必由館高校

(1) 感じる探究！ in 必由館

- ・自分たちの地域である熊本市の状況や政策について知るにより、地域の課題を自分事として捉え、解決していこうとする探究学習に取り組んでいる。

熊本市第8次総合計画を軸として、生徒と市役所職員の対話を重視しながら、熊本市の魅力や課題などを自分事として捉え発信している。

(災害時の避難所、災害後の心のケア、渋滞問題、ふるさと納税の返礼品等)

- ・探究の時間の延長として、また地域学校協働活動の一貫として地域の課題を解決するためのプロジェクトを生徒主体で企画を立案し、実施している。(地域創生同好会)



キックオフイベント(29のブースを設置)



市役所等の関係機関と連携した探究活動

(2) 地域と学校をつなぐ地域コーディネーターによる地域学校協働活動の事例

- ・幼稚園訪問 出張演奏会
- ・高齢者へのスマホ教室
- ・地域お助け隊
(近隣高齢者の自宅にて作業)
- ・子飼なでしこ秋祭り運営手伝い



生徒考案の熊本市中央区を巡るすごろく

5 これまでの取組における成果と課題

【成果】

- 地域活動の回数 R5：317回（年間） → R6：472回（1月末現在）
- ボランティア人数 R5：1009人（年間） → R6：1241人（1月末現在）
- アンケート調査（別紙1）

- ・地域支援により、教職員の授業力向上につながった。 〈図1—③〉
- ・こどもと関わる保護者や地域住民が増えたことで、信頼関係が高まり教職員の生徒指導や生活指導の負担感減少につながった。 〈図1—②、④〉
- ・授業や学校行事等で多くのおとなとこどもが関わる機会が増えたことで、こどもの自己肯定感が高まり、キャリア意識にも良い影響を与えたと考えられる。 〈図2—①③⑤〉
- ・こどもが、意見や考えをおとなに伝える機会が増えたことで、他者を尊重しながら自分の意見を言えるようになったこどもが増えた。 〈図2—②〉
- ・学校や地域の課題を自ら考え、よりよい学校や地域を目指した活動に取り組むことで、地域のことを自分事として捉えるこどもが増えた。 〈図2—⑥〉

○考察

- ・こどもたちが、地域に向けて幸せな校区について提案したことで、地域の活性化が期待される。
- ・拡大評議員会での協議を踏まえ、これまでの学校と地域の連携について改めて整理し、新たな取り組みにつながった。

【課題】

●アンケート調査（別紙1）

- ・【学校での地域との関わり】について、児童生徒の意識に伸びは見られたが、全体的な割合が低い傾向。 〈図2—①〉
- モデル校への伴走支援（相談対応、情報提供等）を積極的に行い、地域学校協働活動の充実を図る。

●考察

- ・拡大評議員会の協議題や人数、時間帯等、こどもが主張しやすい環境づくり。
- モデル校で様々な方法を検証していく。
- ・地域コーディネーターは、活動に対し費用負担が発生しているが、ボランティアで活動している。
- 実費負担分を含め、予算を構築する必要がある。
- ・地域コーディネーターの確保、質の向上。
- まちづくりセンター等と情報共有し人財を発掘、情報交換会や養成講座の実施。

6 今後のスケジュール

- 令和7年度は、現4校のモデル校に4校加える。
（飽田西小学校、力合小学校、田底小学校、天明中学校）
- 令和8年度以降も、モデル校での取り組みを検証していく。
- 熊本市教育振興基本計画 R9年度目標値16校（地域学校協働活動推進員を配置する学校数）

モデル校のアンケート調査について

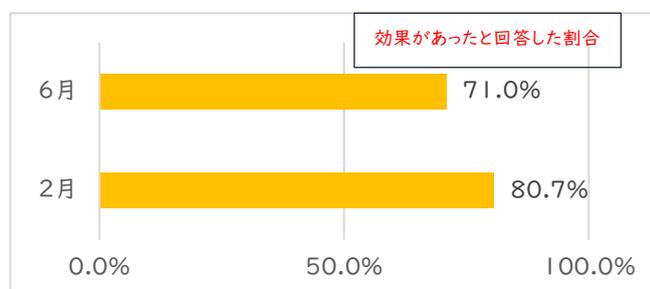
地域とともにある学校の実現に向けたコミュニティ・スクールの「見える化」ポートフォリオ抜粋

※文部科学省が開発した 自校のコミュニティ・スクールの取組状況等を自己診断し、より良いコミュニティ・スクールにしていくためのツールとなるもの。

【対象:教職員(小学校2校、中学校1校) 6月回答53人、2月回答59人】

【項目】

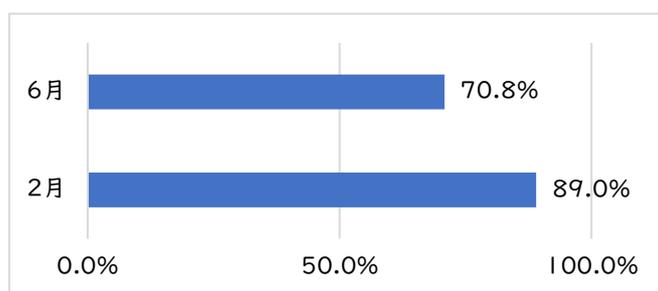
- 1 学校、地域への愛着の高まり 2.2 6月と2月の比較%
- 2 保護者、地域住民への信頼の高まり 18.2
- 3 授業力の向上 8.7
- 4 生徒指導、生活指導の負担軽減 16.4
- 5 保護者対応の負担軽減 3.4



〈図1-①〉教職員への効果

【項目2の質問】

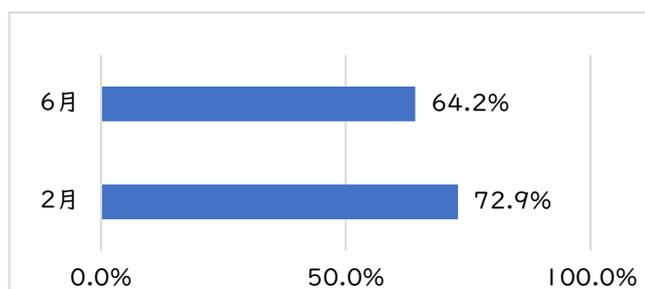
- ・保護者や地域の人は、学校の課題や問題点を理解してくれている 19.8
- ・保護者や地域の人は、学校にとって有意義な意見、提案をしてくれる 16.6



〈図1-②〉項目2 保護者、地域住民への信頼の高まり

【項目3の質問】

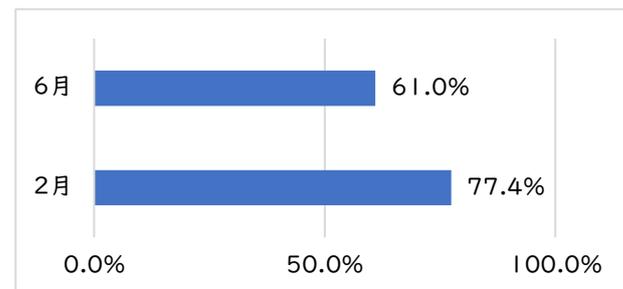
- ・授業に活用できる地域資源や地域課題を理解している 12.9
- ・授業のねらいに応じて、効果的に地域資源等を活用した授業を行うことができる 6.1
- ・授業は、学校外にもサポートしてくれる人がいる 10.2
- ・地域の人と協力することで、授業の内容の向上につながったことがある 3.8
- ・地域の人とのふれあいや地域での活動によって、勉強が好きになった子どもがいる 10.6



〈図1-③〉項目3 授業力の向上

【項目4の質問】

- ・こどもの生徒指導・生活指導について、学校外にも手伝ってくれる人がいる 28.3
- ・地域の人がこどもの話を聞いてくれたり、アドバイスをしてくれたりすることが、生活指導の負担軽減につながっている 11.2
- ・地域の人と協力することで、こどもの問題行動の解決につながっている 9.7

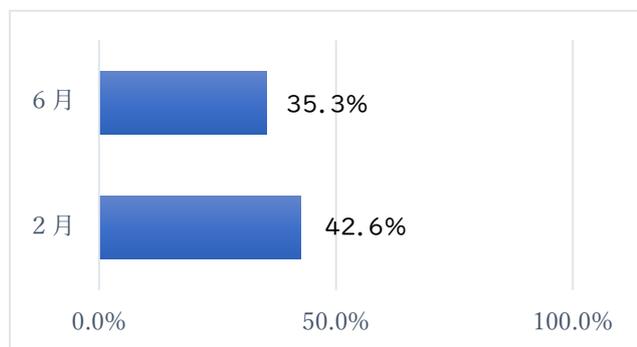


〈図1-④〉項目1 生徒指導、生活指導の負担軽減

【対象：児童生徒（小学校2校、中学校1校）6月回答224人、2月回答209人（小5、小6、中3）】

【質問】

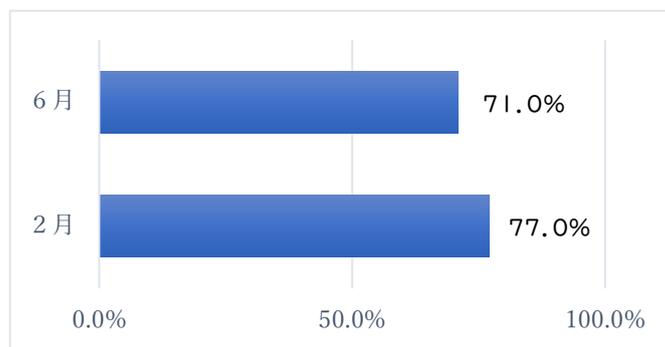
・授業や学校行事の中で、地域の人と一緒に活動する



〈図2-①〉 学校での地域との関わり

【質問】

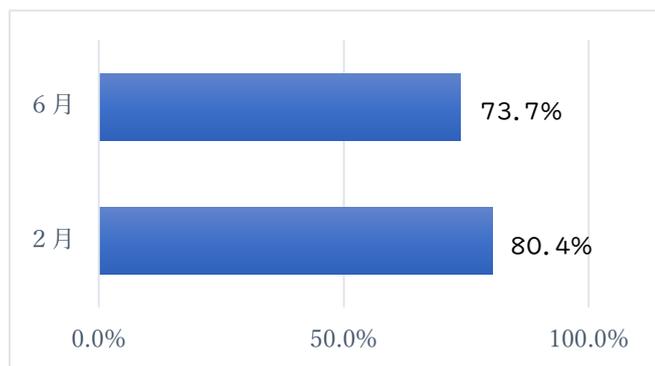
・他の人と異なる意見でも、自分の意見を言える



〈図2-②〉 こどもの意見表明

【質問】

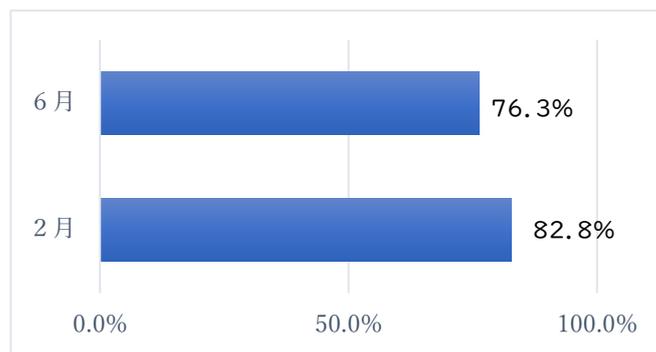
・自分はやればできる人間だと思う



〈図2-③〉 自己肯定感

【質問】

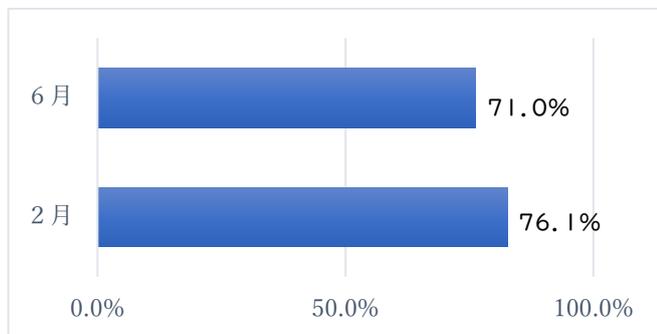
・やると決めたことは、粘り強く、最後まであきらめずにやり通す



〈図2-④〉 やり抜く力

【質問】

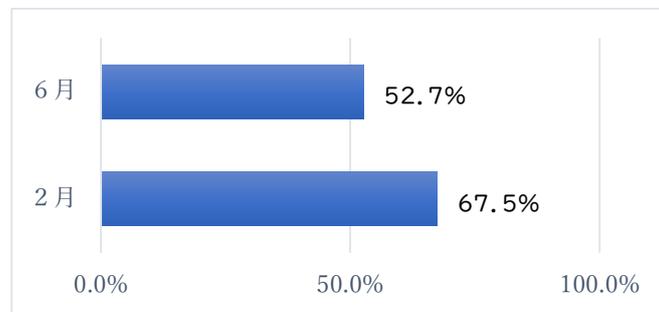
・将来の夢や目標を持っている



〈図2-⑤〉 キャリア意識

【質問】

・この地域で起こっている問題は、自分も関係がある



〈図2-⑥〉 地域への意識